

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	社会学Ⅱ	（ NCR22N ）	
講義名（コード）	社会学Ⅱ	（ NCR22NX ）	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	堀 文	時間数	30
成績評価教員	堀 文	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	社会的存在としての自分や、他者、社会に対する理解を深める。社会現象を複眼的に考察し、他者や社会とのかかわっていく態度を養う。
全体的内容と概要	資料を読み、理解する。自分の意見や疑問点について話し合う。
授業時間外の学修	日常的に社会で起こる問題に対し、自分なりの意見を持つよう、意識を高める。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	ジェンダーとセクシュアリティについて理解する	男社会の構造について考える
2	環境と科学技術について理解する	成長と開発の妨げになる環境について考える
3	階層・階級・不平等について理解する	親から子どもへ格差が受け継がれやすい理由について考える
4	都市とコミュニティについて理解する	都市研究と社会学のかかわりについて考える
5	グローバリゼーションとエスニシティについて理解する	社会や社会学理論にどのような変化をもたらしたかについて考える
6	文化と宗教について理解する	宗教は所属を生むか、孤独を生むかについて考える
7	メディアとコミュニケーションについて理解する	「民意を問う」とはということかについて考える
8	デマ・炎上について理解する	デマ・炎上が発声する社会的な背景や条件やそれらと対峙する姿勢や意識について考える
9	国家・権力・公共性について理解する	オリンピック・パラリンピックに見る国家・権力・公共性について考える
10	社会運動とNPO/NGOについて理解する	「市民は社会を変革できるか」について考える
11	「本音」と「建前」について理解する	「配慮」「信頼」と、「本音」と「建前」の意義を理解する
12	まとめ - 1	後期で履修した内容のまとめ
13	まとめ - 2	一年間で履修した内容のまとめ
14	テスト	テスト
15	FB	FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	奥村隆編著 はじまりの社会学：問いつづけるためのレッスン（ミネルヴァ書房）
備考	